

第1回 ガイダンス

- ・ 今週は講義の概要を説明するので、これを聞いたうえで受講するかどうか決めてください。

(1) 講義の目的と内容

①アメリカ企業・産業についての情報を収集し、分析する手法を身につける。

- ・ アメリカ企業 (The Boeing Company) とアメリカ産業 (アメリカ航空機産業) を例に取り、インターネットを通じて、どのように情報を収集し、整理するか、講義を通じて学ぶ。
- ・ 具体的には、上記企業・産業についての *Financial Times, Wall Street Journal, Economist, Forbes, Fortune, Business Week* などの経済情報紙誌の英文記事を読み進め、①製品・サービスの質、②業界内での位置づけ、③不況抵抗力、④経営者の質などの主要項目について調査し、経営戦略・産業動向を検討する。
- ・ みなさんは、社会に出てから多くの形でアメリカ企業とつきあわざるを得ないと予想されます。－ (1) アメリカ企業に就職・転職する。(2) 日本の企業に就職し、アメリカの企業と取引をする。(3) 日本の企業に就職したが、その会社がアメリカの企業に買収された。(4) 資産形成の一環としてアメリカ企業の株式やアメリカの企業の株式を組み込んだファンドを購入する。など、アメリカ企業とのつきあいの機会はこれからますます増えてくると思います。そうしたときに、どうやってその会社の業績・将来性と倒産危険性・経営戦略を見極めるかは必要な知識だと思われます。
- ・ Boeing Co.の Form 10-K (主要なアメリカ企業が Securities Act of 1933, Securities Exchange Act of 1934 に基づき SEC への開示が義務づけられている決算期1年間の経営の状況を詳述した年次報告書)の読み方、主要財務指標の分析手法を身につける。
- ・ 経済学部調査資料室 (法経総合研究棟地下一階) の利用の仕方、とりわけ Moody's Company Data 利用法を身につける。
- ・ 講義で検討した手法をもとに、分析する特定のアメリカ企業・産業を選択し (関心のある企業で、10-K 形式の会計報告を SEC に提出し、公開している企業)、Form 10-K, Moody's Company Data および各種経済紙誌を素材として、経営戦略と将来性を日本語でレポートにまとめる。年次報告書 (アニュアルレポート) は決して会計に関して専門的に勉強しようという人だけでなく、他の分野を専攻しようとする人にとっても多くの有益な情報を含んでいるので、これを読まないのはもったいない。

●成績評価の方法

- ・ ①毎回の講義での出席・発表と②上記レポートを総合的に評価します (この講義では、

試験を実施しません)。レポートの評価のポイントは、適切な資料と事実に基づいているか？客観的であるか？などです。剽窃・盗用（不正行為）が確認された場合、経済学部の規定に従い処分します。2004年1月13日（火）午後1時締め切り、MS-Word形式、A4（40字×40行）4頁以上（表紙・図表除く）。添付ファイル・メール送信および、規定のレポート表紙をつけたプリントアウトしたものの双方で提出する。

- ・レポート作成のやり方は順を追って、講義で説明します。

②日本と世界の経済の焦点となっている問題を、*Financial Times*, *Wall Street Journal*の記事で読み進める。

- ・来週は、さしあたり、「**人民元切り上げ問題・円急騰問題**」に関する記事を読みます。

（2）講義の進め方

●講義

- ・ 前の週に、次の週に読む英文のプリントを配布します。欠席した場合は、法経総合研究棟7階坂出研究室前の椅子に置いてあるコピー残部をとりに行くか、他の受講者にコピーさせてもらってください。
- ・ 受講者は、最低限、このプリントを、（辞書を引いて）読んでみてください。
- ・ 講義では、英文を一定部分毎にランダムに受講者に当てますので、日本語に訳してください。

●講義の後に

- ・ 講義では、参考資料として、テーマに関連するサイトを紹介しますので、それらのサイトを各自閲覧・検討してください。
- 受講の条件—PC・インターネットの使用
- ・ 大学のコンピュータ又は自分のコンピュータを通じて、①ホームページ閲覧・②メールの送受信・③ワード文書の作成・④Adobe Acrobat(pdf)ファイルの閲覧・印刷ができること。
- ・ 講義に必要な資料、関連資料などはホームページで紹介します。京都大学経済学部→教官紹介→坂出健→欧米経済史研究室（<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~sakade/>）→講義 経済英語 B（後期全学共通科目）
- ・ 質問・意見などもメールで sakade@econ.kyoto-u.ac.jp までお寄せください。